

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774
FAX (03) 3464-1884
info@setubikougyo.co.jp
年額8,800円(税・送料込)

TOTO



NEW
システムバスルーム
シンラ

詳細は
ホームページを
ご覧ください。



管路更新推進・強化

東京都水道整備で専門部会

東京都水道局(山口真局長)は7月7日、東京・新宿区の都庁第二本庁舎会議室で東京都水道事業運営戦略検討会議の第1回「施設整備に関する専門部会」(部会長・石飛博之給水工技術振興財団専務理事)を開催した。東京都水道施設整備マスタープラン策定後の環境変化や新たな課題を踏まえ、今後の具体的な取り組みについて検討。管路更新の方向性では配水管ネットワークを強化・推進し、地域配水の骨格となる管路の耐震継手化に重点的に取り組んでいく。

配水管の耐震継手化重点に

専門部会を設けて検討する必要がある。実効性のある施設整備に向けて専門的見地から議論を進めていただきたい」と要請した。

当日は同局の鈴木技監が冒頭あいさつに立ち、「東京都水道長期戦略構想2020が改定の時期を迎え、マスタープランについても見直すこととなっている。コロナ禍以降の労働環境の変化やAIなど新技術の進化、能登半島地震における水道施設の甚大な被害などを踏まえ、新たな方向性を示す必要がある。実効性のある施設整備に向けて専門的見地から議論を進めていただきたい」と要請した。



鈴木技監

「東京都水道長期戦略構想2020が改定の時期を迎え、マスタープランについても見直すこととなっている。コロナ禍以降の労働環境の変化やAIなど新技術の進化、能登半島地震における水道施設の甚大な被害などを踏まえ、新たな方向性を示す必要がある。実効性のある施設整備に向けて専門的見地から議論を進めていただきたい」と要請した。



初会合で有識者が活発に意見交換

とをめぐって活発な意見交換を繰り返した。水道需要の見直しにより、1日平均使用水量と1日平均配水量は現在と同程度で推移し、令和7年度にピークを迎える。配水量の変動や漏水などを考慮した1日最大配水量はピーク時におおむね530万立方メートルとなる可能性がある。その後は減少傾向に転じていく見通しだ。

水源の適切な確保では平成4年以降、利根川水系で4年に1回程度の割合で取水制限を伴う渇水が発生している。このため小内貯水池(奥多摩湖)では予防保全計画に基づき取り組みを推進する。

今後の管路更新の考え方はバックアップ機能を確保した導水施設の二重化に努めることにも、広域的な送水管ネットワークを構築し、給水所への送水管の2系統化を推進する。配水管については配水小管網の骨格となる路線を重点的に耐震継手化し、ネットワークも強化する。

次回が災害への備え、新技術の活用、新たな水処理実験施設、今後の取り組みの具体化について議論する考えだ。

PFA Sの水道水質基準設定

環境省 来年4月から検査など施行

環境省は有機フッ素化合物(PFAS)で幅広く使われているペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)とペルフルオロオクタノール(PFOA)の水質基準を設定する。新たに関係法令を公布した。来年4月1日から施行され、水道事業者による水質検査の実施や水質基準の順守が義務づけられる。PFASは主に炭素とフッ素からなる化学物質の総称。水や油をはじき、熱に強いことから、撥水剤、泡消火剤、コーティング剤などとして多用されてきた。しかし環境汚染や人体への有害性などが指摘されるようになり、国際的な規制対象となっている。特にPFOSやPFOAなどは分解しにくく、身体に蓄積されるため、国内外で製造・使用・輸出入が規制されている。

同省はPFOSとPFOAについて令和2年から水道水における水質管理目標設定項目に位置づけ、暫定目標値を設定。PFOSの具体的な取り扱いについて検討を進めていた中央環境審議会は5月に「水道における水質基準等の見直しについて」(第1次答申)と「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直しについて」(第7次答申)を環境大臣に答申していた。

新たな水質基準によると、水道水・公共用水域・地下水に含まれるPFOS・PFOAはいずれも基準値を1リットルあたり50ナノグラム以下と定めた。水道法施行規則も改正し、検査回数はおおむね3カ月に1回以上を基本としている。

ことさらに、内閣府食品安全委員会が昨年6月にPFASに関する食品健康影響評価をまとめた。これを踏まえ、PFOSとPFOAの具体的な取り扱いについて検討を進めていた中央環境審議会は5月に「水道における水質基準等の見直しについて」(第1次答申)と「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直しについて」(第7次答申)を環境大臣に答申していた。

新たな水質基準によると、水道水・公共用水域・地下水に含まれるPFOS・PFOAはいずれも基準値を1リットルあたり50ナノグラム以下と定めた。水道法施行規則も改正し、検査回数はおおむね3カ月に1回以上を基本としている。

ことさらに、内閣府食品安全委員会が昨年6月にPFASに関する食品健康影響評価をまとめた。これを踏まえ、PFOSとPFOAの具体的な取り扱いについて検討を進めていた中央環境審議会は5月に「水道における水質基準等の見直しについて」(第1次答申)と「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の見直しについて」(第7次答申)を環境大臣に答申していた。

NICHIEI INTEC



「最速の施工」動画

らく吊X

GOOD DESIGN AWARD
2022年度受賞

GOOD DESIGN 賞でも大きな評価を得られた、従来品と「らく吊X」の施工時間の比較動画をぜひご覧ください。

ひとつの金具がすべてを変える

お問合せ: 日栄インテック株式会社

日栄インテック 検索

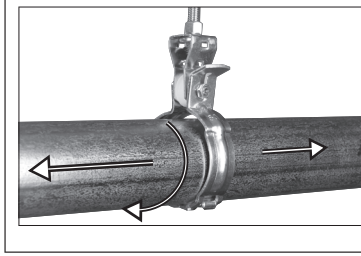
省施工 省人化



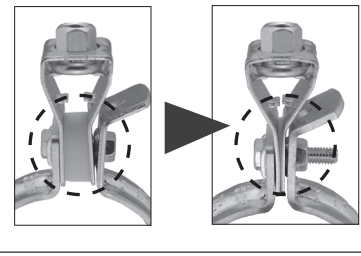
ナットを外さなくても取付けできます パイプの支え作業ゼロ



パイプの可動が容易



ナットの締め忘れ防止 目視確認が可能



「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」